

こころ ねっと Vol.5

【2015年12月定例会】11/26~12/21



発行元・編集／山本辰哉 連絡先／090-7549-7659 E-mail／mttatsu1@gmail.com URL／<http://www.tatsuya-yamamoto.com/>

Cocoro net

皆さんこんにちは。議員として2年目がスタートした本定例会では、“子ども・子育て支援“に関する私の質問に対して、非常に喜ばしい回答を得ることが出来ました。

今回はその内容を中心にご報告させて頂きたいと思います。

質問内容と答弁 Q: 山本 A: 行政

インフルエンザワクチン接種の負担軽減について（健康推進課）.....

市として高額なインフルエンザワクチン接種費用の助成は出来ないのか？

平成28年秋からの助成制度導入に向けた準備を始める

Q 毎年猛威を振るうインフルエンザであるが、この予防接種に掛る各世帯の経済的負担は決して少なくない。特に2回の接種を必要とする年齢層に対しては倍の負担が生じている。

現在我が国では、予防処置に対する健康保険の適応が困難であることは重々承知しているが「子育て日本一」を掲げる岩国市であるならば、費用の一部を助成する等の思い切った施策が必要ではないか？当局の見解を問う。

A 現在、接種費用の一部を助成する3種類の任意予防接種については、市が岩国市医師会、玖珂医師会などと契約し、「おたふくかぜワクチン」と「B型肝炎ワクチン」、「ロタウイルスワクチン」を市内や近隣の市や町(まち)の委託医療機関で接種することができ、保護者の方から接種費用の一部を負担していただいている。この接種費用や自己負担金の額については、岩国市予防接種意見交換会などにおいて御意見を伺い設定している。

また、インフルエンザワクチンについては接種を行うことで発病や重症化予防が図られ、インフルエンザのまんえん防止につながることも期待されている。しかし、一方で季節性インフルエンザワクチンの予防接種は、現在、個人が任意で行う予防接種とされており、保護者の方に接種費用に係る経済的な負担が生じていることも承知している。このような状況をしっかりと踏まえ“子育て日本一”を掲げる岩国市”としては、平成28年秋から子ども（～中学3年生まで）を対象とした助成制度導入の準備をしていく。

マイナンバー制度導入について（政策企画課・市民課）

個人番号カードは必ず作らなければならないのか？

作成する事で利便性は向上するが、必ずしも作る必要性は無い

Q マイナンバー通知カードに同封されている「個人番号カード交付申請書」について必ず申請しなければならないのか？

A 個人番号を利用する税や健康保険、雇用保険、児童手当、生活保護などの事務において、申告や申請等の手続の際に、「通知カードと運転免許証やパスポートなどの顔写真付きの身分証明書」の提示が必要となるが、顔写真付きの身分証明書がない方は、たとえば健康保険証と年金手帳など、2種類の書類の提出が必要となる。こういった際に「個人番号カード」を作成しておけば、これ1枚で手続きができるという利点がある。こう言った事から利便性は高いが、必ず作らなければならないものではない。

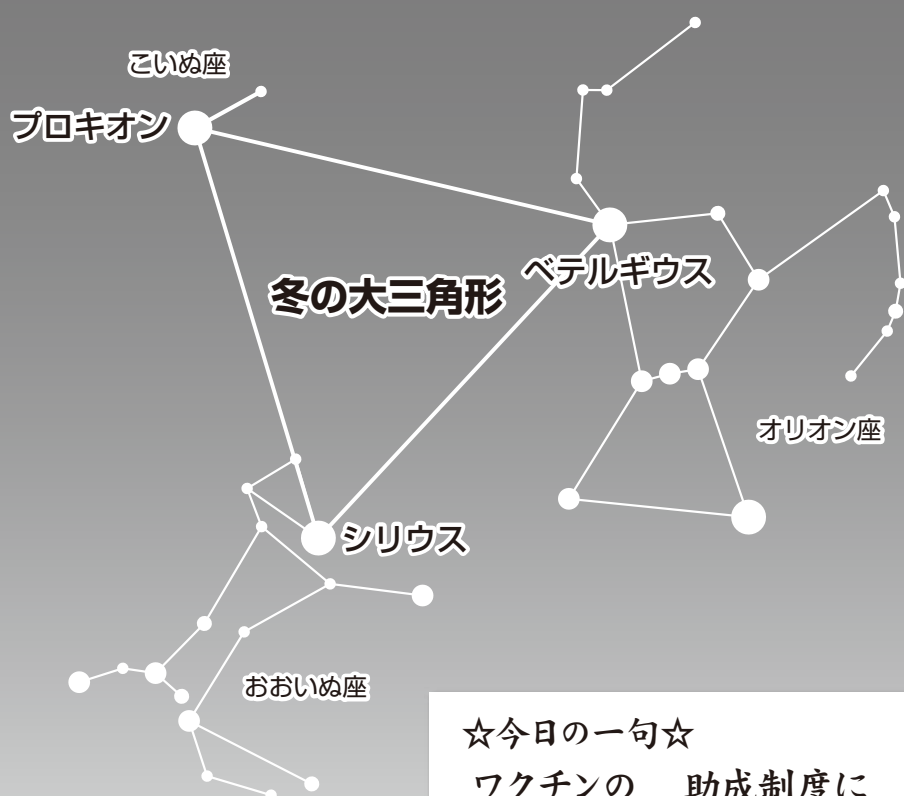
防災行政無線個別受信機（ケーブルラジオ）の早期取り付けについて（危機管理課）

屋外スピーカーの難聴地域を優先した取り付けは可能なのか？

全体の工程を見ながら調整していく

Q 戸別受信機等の整備について、屋外拡声子局（スピーカー）からの音声が聞こえ辛い「難聴地域」から工事を着手することは可能なのか？

A 戸別受信機等（ケーブルラジオ）を難聴地域から整備していくことについては、可能な限り優先整備が行えるよう、全体の工程の中で調整していく。



徒然記

ふと夜空を見上げれば、三ツ星並んだオリオン座が冬の夜空を煌々と照らしています。
ベテルギウス、シリウス、プロキオンの壮大なトライアングルに願いを込めて、2016年のスタートです！

☆今日の一句☆

ワクチンの 助成制度に 星三つ！

